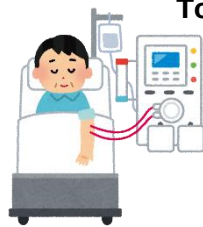
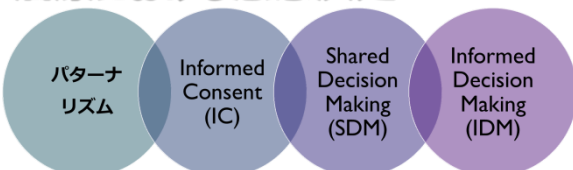


本日のMENU

- 治療における意思決定の方法
- SDMに必要な要素
- SDMを促進するツール
- ガイドラインで示されているRRT準備
- 高齢者の特徴とリスク評価
- 透析継続・中止に関する提言



治療における意思決定



中山和宏 他, Shared Decision Making.小児外科 2017

SDMに必要な要素

Team talk	Option Talk	Decision Talk
<ul style="list-style-type: none"> 一緒に話し合って患者・家族の好み・意向に基づいて決めるための支援をいつでも出来ることを伝える 患者が自己決定を拒否あるいは医療者に委ねる場合は、選択肢を説明し何が重要な理解してほしいことを伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 選択肢について詳しい情報提供を行う すでにある知識を確認した後、図などを使って選択肢をリスト化する 選択肢の具体的な内容を示す 日常への影響度を示し、リスクとベネフィットについて伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 一番大事にしたいことを明らかにして、ベストの選択肢を選ぶ支援をする どのアウトカムを大事にして決めたいかを尋ね選びたい選択肢で良いかを確認し決定する 必要時はOption Talkに戻る

中山和宏 他, Shared Decision Making.小児外科 2017

SDMを促進するツール

Decision Aid

- 患者や家族が意思決定に参加できるように作られたツールで、「意思決定支援ガイド」ともよべる
- パンフレット・ビデオ・webなどで治療の選択肢について情報提供し、患者が自分の意向や価値観と一致した選択肢を選ぶように支援する
- Decision Aidの中心となる部分は、利用可能な選択肢をならべて、それぞれの長所と短所を比較する一覧表である
- ポジティブな表現と、ネガティブな表現の両方を同じように提示することが大事
例)生存率と死亡率を同じように提示する

Decision Aidの効果

- 知識が向上する
- 確率を示してある場合、正確にリスクを認識しやすい
- 情報が足りない、価値観がハッキリしないなどの葛藤が少ない
- 意思決定で受け身になりにくい
- 決められない人が少ない
- 医師と患者のコミュニケーションが向上する
- 意思決定やそのプロセスに満足しやすい

日本のSDMツール Decision Aid

腎不全治療選択とその実際と合わせて使用すること記載されており、
情報提供は無く、患者自身の置かれている状況・考え・希望などを記入していくスタイル
腎臓病の理解度についても確認でき、必要時医療者から説明を求める

海外のSDMツール The Dialysis Decision Aid booklet

イギリスのヨークシャーで開発された透析の意思決定支援パンフレット
56ページからなる冊子体で、腎臓の働き・CKDとは・末期腎不全とは・透析のオプション(HD,HHD,CAPD,APD)・
透析の意思決定について詳細に説明し、その後患者の生活スタイルの確認、今の時点で自分にマッチする透析療法について選べる

今の生活と、透析を始めた後にどのようにしていきたいか？を書いてみる

- 家族や友達との過ごし方
- 趣味(ガーデニング・釣り・音楽など)
- 休暇や旅行(国内or海外)
- 家庭での役割(料理、洗濯、家事)
- お世話をしなければならないこと(介護・ペット)
- リラックス出来ること(睡眠、TV)
- 自分のお手入れ(入浴、髪の毛の手入れ、おしゃべり)
- 勉強(夜間学校、塾)
- 仕事(仕事の役割、ボランティア)



